

問い合わせ先
海洋情報部海洋調査課
課長補佐 矢吹 哲一郎
TEL03-3541-3815 (内線 621)

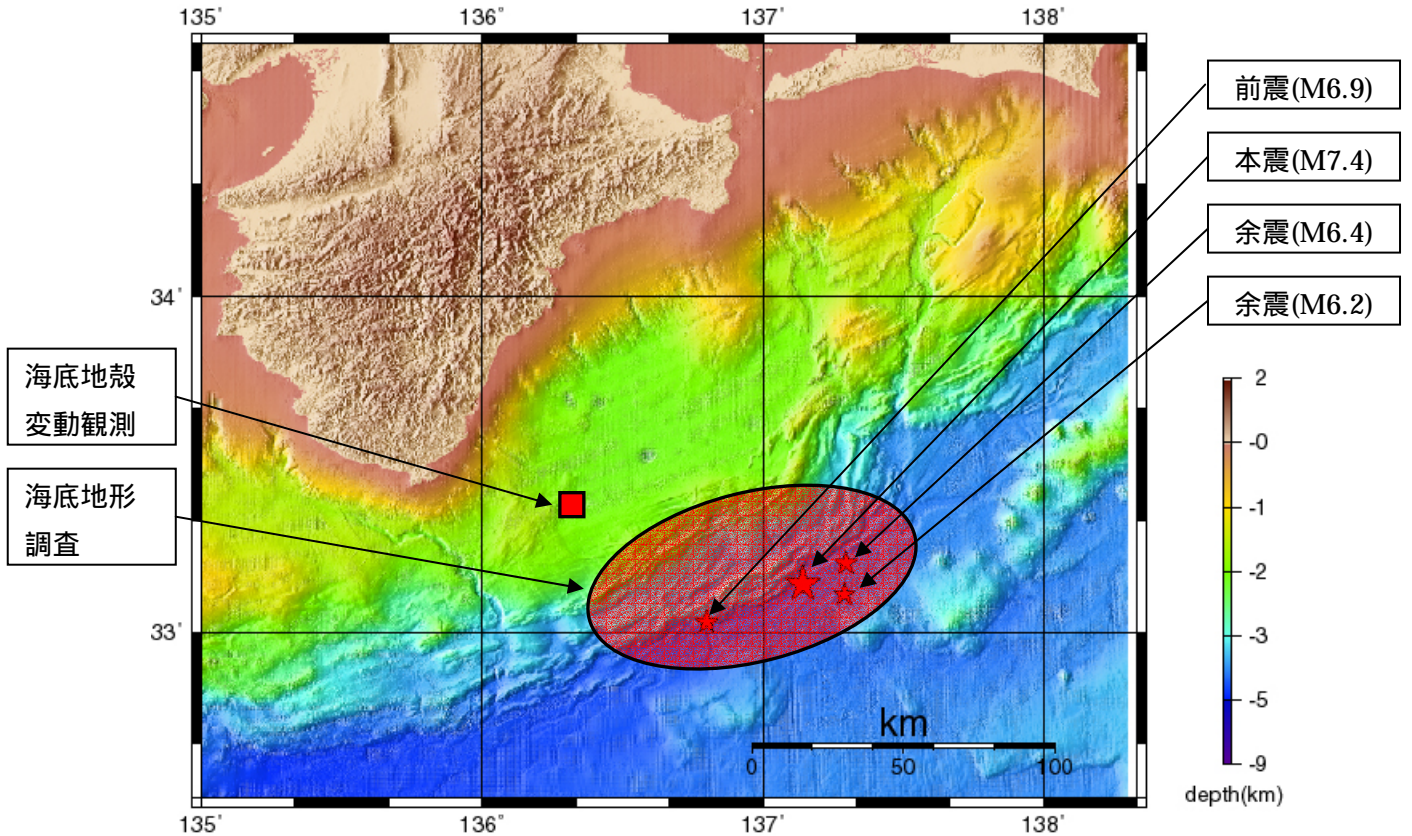
紀伊半島南東沖地震の震源域海底調査を開始

海上保安庁は、紀伊半島南東沖で9月5日に発生した地震の震源域周辺において、測量船による臨時調査を開始しました。

今回の地震の震央は、南海トラフ軸の近傍に位置していますが、各地で津波が観測され、また、三重県志摩半島では、5cm程度の地殻変動が検出されており、海底でも地形変化や地殻変動が生じていると考えられます。

今回の臨時調査では、測量船に装備されたマルチビーム音響測深機を用いた精密海底地形調査を行うとともに、震源の近傍でGPSと水中音響測距を組み合わせた海底地殻変動観測を実施します。

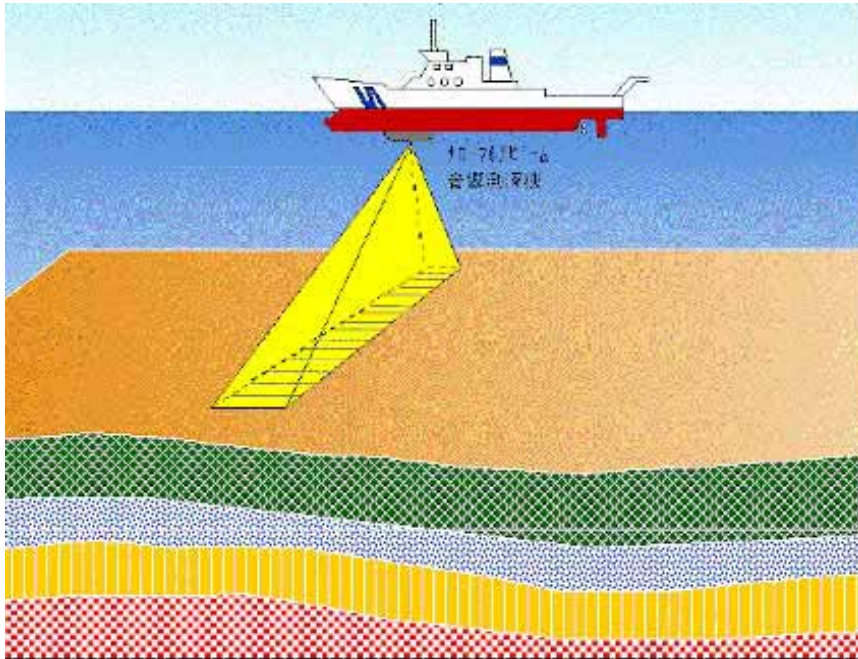
これらの調査結果は、今回の地震の性質をより明らかにするため役立つことが期待されます。



調査予定海域 (星印は、M6.0以上の震央)

マルチビーム音響測深機

測量船の船底から船の左右両方向に 120 本の音響ビームを送波することにより、海底地形を高い分解能で面的に測定することを可能とする測深機。



海底地殻変動観測

GPSと水中音響測距を組み合わせ、海底の精密な位置を測定する。

